

# 立候補予定者6割が無回答

## 市議選 地下水研究会の公開質問

宮古島地下水研究会(共同代表・前里和洋、新城竜

一、友利直樹)は9日、富名腰公民館で会見し、市議会議員選挙の立候補予定者に提出していた公開質問状の回答結果を公表した。38人中、期限内に回答があったのは39%(15人)だったとして、前里共同代表は「6割の立候補予定者から回答がなかったことは残念だ」と語った。

同会は、9月に地下水保

全に関する考え方など9項目の公開質問状を市議選立候補予定者に送付。3日までに賛成、反対、保留のいずれかとその理由を示すよう求めていた。

農業や化学肥料使用、家畜し尿処理の実態調査と情報公開については、回答者の8割が必要を選択した。同会が提案している「水道水源保全地域を宮古島市

全域に広げる」との質問には、賛成が40%、反対が13%、分からないが47%となった。

「健康に影響する環境化学物質の地下水モニタリング体制の構築と削減対策を地下水保全条例に明記する」との問いには、回答者の73%が賛成した。

前里共同代表は「この島が農業を基軸として発展す

るために、地下水保全型農業に切り換えることを推奨したい。そのためには宮古島全体を水道水源保全地域に指定し、モニタリングすることが重要だ」と話した。

回答結果の詳細については、同会のホームページ(<https://miyakojima-tikasui.com>)で公開されている。



公開質問状の回答結果を発表する前里共同代表(中央)ら。9日、富名腰公民館